

学校整備にあたってのコンセプト

- ・学校、地域、神社の緑がつながる学校
- ・ラーニングセンター（図書＋学習スペース）を中心に多様な学習を実現
- ・生徒それぞれに好きな場所、好きな居場所がある学校
- ・地域が学校に関わりやすい学校（地域連携が可能な学校）
- ・充実した運動ができる学校（大きな体育館 / 145mトラック / 50m直線走路）

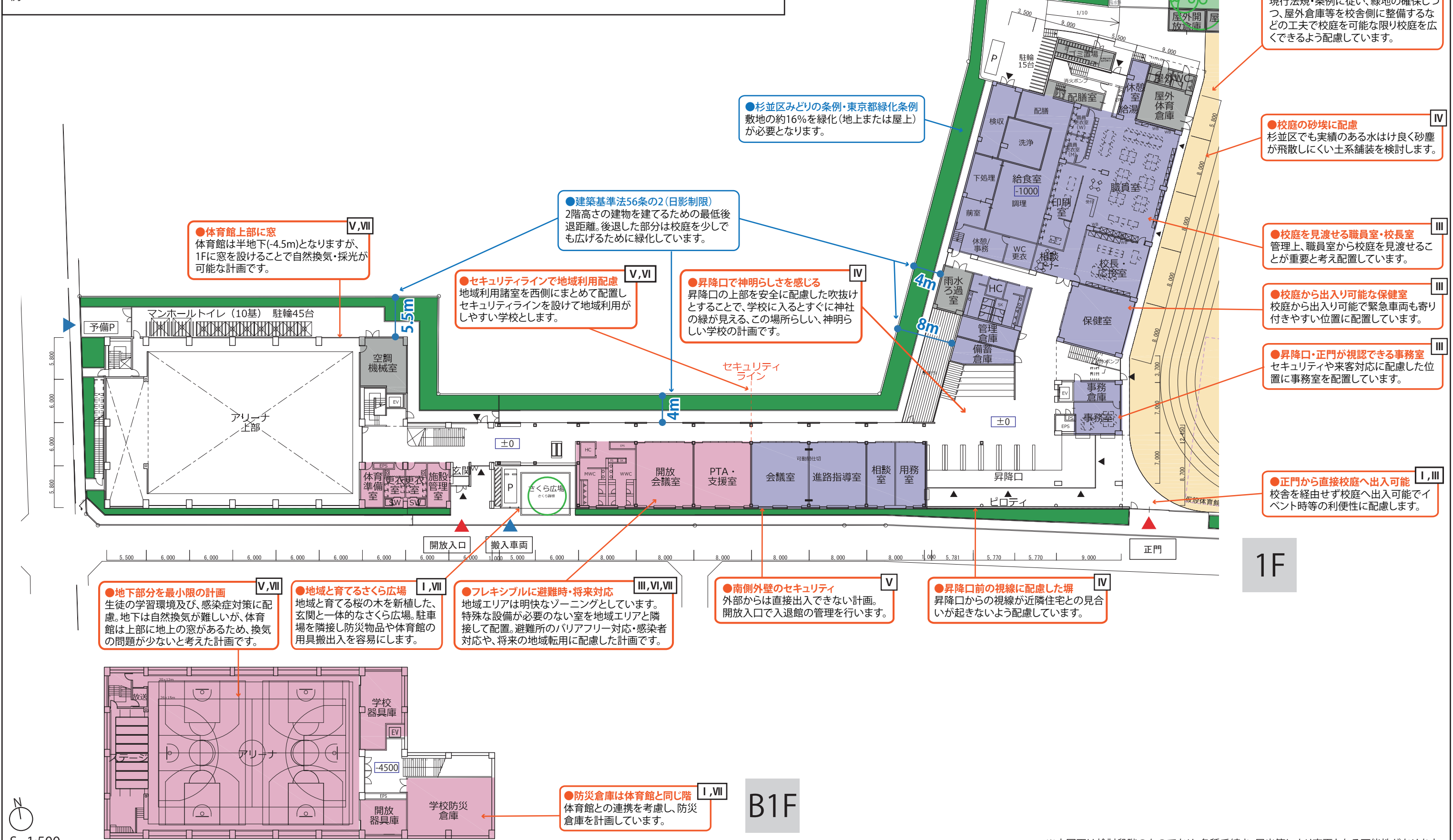
計画案コンセプト

- 【配置】
- ・既存の神明中の配置と同じL型に校舎を配置
 - ・校庭に終日日影を落とさない、明るく使いやすい校庭を実現する校舎配置
 - ・校舎から神社の緑を感じられる神明らしい校舎配置

【平面】

- ・管理諸室を敷地の中央に配置し、校舎、校庭共の管理・見守りしやすい配置
- ・階ごとに、1F 管理・地域、2F 特別教室、3,4F 普通教室を明快にゾーニング
- ・学年ごとのまとまりと、他学年エリアを通らなくても教室移動が可能な配置
- ・普通教室エリアを3.4Fにまとめ、将来的に特別教室を地域開放エリアにしやすい配置

凡例 □：建築基準法・杉並区条例等への対応事項 □：よりよい学校・よりよい計画を目指した配慮事項 I：改築基本方針の該当番号



S=1:500

※本図面は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。

- 凡例
- : 建築基準法・杉並区条例等への対応事項
 - : よりよい学校・よりよい計画を目指した配慮事項
 - I : 改築基本方針の該当番号

●建築基準法56条の2(日影制限)
4階高さの建物を建てられない部分。
校庭を少しでも広くするよう緑化を検討します。

●学年間の交錯を避け、居場所をつくる計画
3～4つの普通教室を学年のユニットとし、各々にトイレと階段を設けることで、他学年の生徒が教室前を通らない計画。また、学年のユニット同士は扉等で仕切ること、教室・廊下が安心して過ごせる学年の居場所となるよう計画します。

●プール底の計画
プールサイドの上部には、見学者や体調不良者が休むことのできる庇を検討します。

●建築基準法56条の2(日影制限)
厳しい敷地条件で2Fを実現するため勾配屋根で計画しています。そのためこの部分の屋上利用はできません。

●落ち着いた環境の学びの教室
学びの教室を、他の生徒が教室移動時に通過しない、より安心して過ごせる場所に配置しています。

●2F=特別教室階で開放可能
将来的に地域開放の可能性を考慮し、特別教室・図書室を2階に集約します。3,4Fの普通教室は生徒の私物・個人情報があるため、階段を施錠し区画。理科室等、開放しない部屋は施錠管理します。

●学校の中心にラーニングセンター
学びのきっかけを与えるにはメディアに触れることが重要です。学校の中心に図書室・多目的室・階段を設け、学びの意欲・関心を高める「ラーニングセンター」の計画です。

